

【決議】

イスラエルはただちにガザ攻撃中止を！
子どもを殺すな、直ちに停戦を！

ハマスによる民間人無差別殺傷や人質は許されることではないが、罪のない子どもや女性、高齢者らの多数の命を奪い、町を壊滅させているイスラエル軍のガザ攻撃は、ジェノサイド（大量殺害）そのもので断固抗議する。

ガザ攻撃即時停止！
即時停戦のための交渉を！

10月27日の国連総会決議（即時、永続可能、持続可能な人道的休戦）採択に、日本は棄権した。平和憲法を持つ日本こそ、即時停戦への最大限の努力を尽くすよう、強く日本政府に求める。

2023・11・22

イスラエル大使館と日本政府に声を届けましょう。

こんな言葉で・・・

- ・ガザ攻撃中止を
- ・ジェノサイドを許すな
- ・日本政府は虐殺に加担するな
- ・武力で平和は作れない
- ・即時停戦、命を守れ

など



イスラエル大使館

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地

FAX: 03-3264-0791

メール: information@yokyo.mfa.gov.il

日本政府（首相官邸）

〒100-8968 東京都千代田区永田町1-6-1

首相官邸ホームページ「ご意見・感想」: https://www.kantei.go.jp/jp/forms/goiken_ssl.html

瀬教労役員（右）



「瀬戸市教職員労働組合」

・定時退校について月2回の実施は在校時間の記録において見た目は少なくなるが、仕事が減るわけではなく持ち帰り残業になり、早く帰るよう指示されることが圧力と感じる。

・会議の精選でリモート化を主張した。
・授業準備・教材研究に時間確保のため、教員の持ち時間数軽減を要求した。新規採用者に関しては、「空き時間」ではなく、授業時間数の中に教材研究の時間を「持ち時間」として計上することを要求した。

・土日出勤や持ち帰り残業の時間を計上してないことは正確な労働時間把握になっていないことを主張した。併せて、土日の在校時間記録をとることを周知するように要求した。
・勤務の割り振り簿の設置をしない理由を質問した。時間外勤務の記録を在校時間記録簿に一行加えることを提案した。

「瀬戸市教育委員会」

・部活動の地域移行の進捗状況について、持続可能な形態で今の形を残し地域の協力を求め動き始めたこと回答した。
・定時退校日を広げたことは、職員の意識を高め広めることをねらいとし、それによって負担となつてはいけなさと答弁した。総時間数（標準時間数1086時間）が多いところは見直しを検討するよう指示した。定時退校日については市教委として指定していない。
・土日の在校時間の記録もとるようにしている。
・ある小学校は共有パソコンで出勤退勤を記録する特殊な例であり、休日の出勤の記録はとられていなかった。正確な在校時間の把握にならず市も学校も困ると返答した。
・勤務の割り振りについて、法的なものではなく、まずは、形を整えること回答した。また、現段階では割り振り簿を作成しないと回答した。
・コロナ禍を経て、年5回の教頭会や教務主任者会の回数を減らしてきている。
・業務の適正化（3分制）についてはできておらず、少しずつ改善していくと答弁した。事務の会計システムの改善は今止まっており、給食費を中心に事務の代表と相談していると回答した。
・教員の授業時間数については学校に任せており、臨機応変に対応していると回答した。
・個人情報保護の守秘義務等があり、持ち帰り業務が無くなるようしていく。一方で、職員自ら定時退校日の趣旨のもと計画的に業務の遂行を各個人に求めた。
・新規採用者の健康安全面を第一に考えていきたいと回答した。小学校は難しいが、中学校では副担や教科でTTを実施したり融通を利かせて行っていること述べた。
・給食無償化は国への要望はしているが現段階で進展はない。今は値上げをしない方向で進めている。
・ラベリングの事業（モデル事業）で主に校務支援の人的保障約2000万円の予算が付いており、県への報告を行うと述べた。

以上



2023市教委交渉のまとめ

瀬戸市教委交渉を10月24日に行いました。
以下、交渉のまとめです。

日時：10月24日（水）
15時～17時

場所：瀬戸市役所
参加者：市教委 山中晶貴
瀬教労 中川真人
小林友子
甲斐雄彦
原田千青
荒木庄平

アンケートのまとめ

時間外勤務や割り振り、勤務時間、休憩時間、年休・療養休暇などについて

・朝の勤務時間と子どもの登校時間がミスマッチである。始業時間前から教員の仕事が始まっている。子どもの登校時刻を遅らせて欲しい。8時30分～9時までに登校する。30分は朝の業前タイムや放課（20分）の削減で生み出せる。
・8時30分勤務開始なのに、8時過ぎに子どもが登校するのは矛盾している気がする。

どのようなことに対して疲労やストレスを感じますか。
・ICT機器の導入でどんどん新しいシステムが入りPC

が子どもも先生も数多くいる状態である。またICTにより子どもたちの「書く」機会の減った。これにより、年々多様化する指導に1人で対応するのはきびしい。

教職員が健康に働き続けられるために何が必要か
・業務時間オーバー分の振り替え、休憩・休息（その週内または1週間以内の取得義務つき）

・各校にカウンセラーをフルタイムで導入し、児童、保護者対応にあたり、児童、保護者の十分な仕事時間（授業以外の時間）

・仕事を減らす。（保護者対応する人を確保する）
・「自由な時間」…教員の自由

に教育実践が行える条件整備を！教える内容が多く、国家戦略の手先となる教育は「ゆとり」ある空間…働く環境が快適な場であること、働く環境整備が充実し、人的配置も環境整備され、余裕のある労働環境を！
「ささやかう人間」…ハラスメントがなく、お互いをリスペクトし合う元気に働き続けられること。特に、管理職は人格・識見・力量とも優れてい

子どもや職場の気になること
・「ほっとルーム」で不登校対策部屋ができつつあるが、正式には中学校に数校あるが、小学校は各校で先生のだ

※ アンケートのご協力いただき、ありがとうございます。
空きま時間をつぶして部屋もな
いだる遊んでもらって部
保たる子どもにだけ安
心感でも学校に行ける
ない。でも本来的に向
は受け入れられるが、小
題ある子は難色をしま
オアシス（人材）を各
の予算（人財）を充て
うなよ！自分も必要と
来ない！でも通信で学
良いいと思う。学校や
育の方が学校に来さ



12月30日、瀬戸市議会
12月11日、学校給食無
明が求めました。請願の趣旨
が紹介された。新井委員
議採択された。11月、あ
で0採択された。11月、あ
さ0採択された。11月、あ
ねす。11月、あ

学校給食無
瀬戸市議会

11/26父母と教師の集い



11月26日に父母集会が開催されました。講演は名古屋大学大学院教授の内田良先生でした。リモートで行われ、テーマは「学校のリスクを見える化する～部活動改革から働き方改革まで」というテーマでした。分かり易い資料と先生の優しい語り口で、学校がブラック職場であることが、良く分かりました。参加者からの質問にも誠実に答えられ、「今までそういう視点から見たことがなかったので、今後はそういう点からも、研究を進めて行きたいと思います。」と言われ、内田先生の人柄がうかがえました。後半はグループに分かれ、感想などを話し合い、有意義な時を過ごせました。
原田千育

年末総決起集会

12月2日（土）午後2時から、宮川モールで恒例の年末総決起集会が開かれました。

加藤徹尾東労連議長の後、非正規ユニオン、平和委員会、瀬教労が連帯の挨拶をしました。



集会後、歩道橋下でスタンディングと拡声器により、市民とドライバーに対して宣伝を行いました。

※ 集会の決議文はHPに掲載してあります。



お知らせ

ジャガイモほりと憩いの広場づくり

日時：12月16日（土）13:30～15:00

場所：瀬教労・ひまわり農園 / 南山口町

内容：ジャガイモほり・さわ会・憩いの広場づくり

いもほりの後、教育や職場の話などを気楽に交流しましょう。

日程：13:20 幡山支所集合

※集合場所から農園へ移動

13:30 ジャガイモほり

14:00 さわ会（しゃべり場）

14:30 河川敷の「憩いの広場」整備

15:00 解散